

2013(平成25)年
1月15日
新年号
第51号

～新年あけましておめでとうございます～



美唄市社会福祉協議会長 高橋 将

東日本大震災以降地域で求められている仕組みの一つが保健、医療及び在宅ケア、リハビリ等の介護を含む福祉サービスを関係者が連携、協力して、地域住民のニーズに応じて一体的、体系的に提供する地域包括ケアシステムであり、もう一つが住民相互でたすけあう地域における支え合いの仕組みであります。私ども社会福祉協議会はこの2つの仕組みの中で中核的役割を担うべく関係機関との連携や介護福祉サービス提供者として取り組んで参りました。平成25年度は本会の第2期地域福祉実践計画の最終年であること次期計画策定の年であり、昨年度から準備を進めてきた法人成年後見センター(仮称)の設置や障がい児者福祉サービス等利用計画策定事業所として本格的に業務を開始するなど新たな事業に取り組む年となります。皆様には引続き本会へのご理解ご協力並びにご支援を賜りますようお願い申し上げます。新年のご挨拶といたします。

美唄市共同募金委員長 谷口 トシ

赤い羽根共同募金並びに歳末たすけあい募金に寄せられましたご好意に対しまして心から厚くお礼申し上げます。赤い羽根募金は『じぶんの町を良くするしくみ』として募金のうち約6割が集めた市町村の福祉向上のために活用され、また、災害の義援金やボランティア活動資金としても貴重な財源として活用されています。歳末たすけあい募金は社会福祉協議会と連携しながら市内の高齢者や障がい者などの皆様に明るい新年を迎えていただくための身近な支援の資金として活用されています。共同募金は厳しい経済状況を反映して年々減少している中、委員会としては戸別募金や街頭募金のほかチャリティパーティ、イベント時のカード販売や募金機能付自販機の設置など様々な方法で募金活動を行っております。本年も『じぶんのまちを良くする仕組み』づくりのための赤い羽根募金や歳末たすけあい募金にご協力くださいますようお願い申し上げます。新年のご挨拶といたします。

美唄市民生・児童委員協議会連合会長 黒宮 健治

皆様には日頃から民生児童委員活動にご理解ご協力頂いていることに感謝とお礼を申し上げます。長引く景気低迷や少子高齢化の進行等により、地域で様々な課題を抱えている人々が増えております。民生児童委員は地域において、その要望などを関係機関に伝えるとともに住民の最も身近な相談者として一人暮らしの高齢者や障がい者等の訪問や児童の健全育成など、地域福祉の担い手として住民が安心して暮らせるための支援活動が強く求められています。このような中で本会としては、民生児童委員が協力して市が作成した「要援護者マップ」の有効活用が地域における安全安心を高める大きな力になるものと考えております。今、美唄市においても住民同士の日常の営みから自発的に生れている支え合いや助け合いの仕組みづくりの動きが活発化しております。私ども民生児童委員はマップに整理された支援内容を必要とする住民個々に対して、そのニーズを共有し、安全で安心なまちづくりに積極的に関わってまいりたいと決意を新たにしております。本年が皆様にとりまして明るく希望に満ちた1年でありますようご祈念申し上げます。新年のご挨拶といたします。



赤い羽根ふわっとチャリティパーティ開催

11月30日美唄の冬の風物詩となったチャリティパーティに約300名の方が参加して開催されました。参加者は生バンドGIRUDO+(ギルドプラス)の演奏で踊ったり、大抽選会では番号を発表するたびに大いに盛り上がり、楽しんでおりました。恒例となった社協職員によるアトラクションは「カルメン」で、女装した男性職員の色気?に会場は大爆笑の連続でした。このパーティでは券代に含まれた寄付金や24企業・事業所からの協賛金(パンフレット広告料)とアトラクション後の会場での募金活動などで474,417円の浄財を頂戴し、赤い羽根募金に428,000円、歳末たすけあい募金に46,417円をそれぞれ寄付しました。ありがとうございました。



バンド演奏に合わせて踊る参加者

☆市民歳末たすけあい運動にご協力ありがとうございました☆

社会福祉協議会と共同募金委員会が共催で毎年実施している歳末たすけあい運動は町内会、農事組合や小中学校、福祉関係団体等のご協力により1,050,862円(12/28現在)の義援金をいただきました。この義援金は歳末に民生児童委員を通じて歳末見舞金(7件105,000円)歳末家事援助(10件20,000円)とおせち料理配食(38件114,400円)を助成しました。なお、2月末までには残りの福祉灯油支給や図書等購入支援事業の対象者に順次助成することとしています。

地域福祉セミナー開催 震災復興への取組み 岩手県宮古市社協の報告



津波が押し寄せて孤立した宮古市役所



宮古市社協の葛事務局長の話に聞入る参加者

宮古市社協の葛事務局長から震災直後の様子(左写真:市役所を襲った津波)や全国から来た災害ボランティアの受入、避難所生活での課題や生活復旧への取組み状況などをスライドをまじえて報告をいただきました。

葛事務局長の今回のセミナーでの講演は昨年と今年の美唄市民並びに本会からの支援に対するお礼を兼ねて多忙な中来ていただきました。

1年9カ月経った今日の課題としては仮設住宅での住民同士の繋がりや地域の中で協力・支援しあえる関係をいかに築くかであり、支援活動が縮小していく中で、住民自らが行政やボランティアなどに頼らないで地域や生活上の課題を解決する力をつけるかが地域福祉の推進役である社協の役割であると語っていました。

今回の講演で災害時のボランティアの在り方や社協の役割等について学びました。また、あの大震災で犠牲となった多くの人と地域があったことを風化させないこと、できる範囲で交流を続けていくことが、被災地への支援であることを心に刻みました。

さあ出動!! ボランティア除雪隊…強力助っ人も登場



軒下まで積った雪を取り除くボランティア

今年も正月早々毎日のように雪に見舞われ除雪に苦労されていることと思います。本会では今年も市民参加によるボランティア除雪を行います。ボランティア除雪は市民がともにつながり、支えあう活動の1つとして、多くの市民ボランティアによって玄関先や窓下の除雪を行っています。対象となる世帯は市の福祉除雪・間口除雪及び業者利用や親類、近隣などの援助が困難なお年寄りや障がいがある世帯です。

除雪ボランティア大募集・・・あなたの力をちょっとボランティアへ

都合のいい曜日、時間に家族、友達や会社の同僚と一緒に除雪で汗を流してみませんか、(随時ボランティア登録受付中です)

13馬力除雪機と運搬用軽ダンプカーを貸出します



ボランティア除雪の強力助っ人として市が購入し、社協が管理する13馬力の除雪機2台と軽ダンプをボランティア除雪する場合に貸出します。貸出は1月下旬からの予定です。

(ボランティア除雪に関する詳しくことは社協地域福祉課 62-0770 まで問合せください。)

参加しませんか?

～気持ちのよい会話をするために～

傾聴の意義と役割を学ぶ

あらゆるコミュニケーションの基礎となる、相手の話しを心で受け止め、理解する姿勢(=傾聴)について講義と演習を行います

日頃の対人援助活動、ボランティア活動などを行っている方へ

とき 2月28日(木) 13:15~16:00

ところ 岩見沢市文化センター 2階 音楽室

講師 五十嵐教行氏(北海道総合福祉研究センター理事長)

その他 道社協主催の空知地区ボランティア活動推進セミナーとして開催します

申込 1月31日(木)までに地域福祉課へ(主催者が参加者数の調整を行う場合もありますので、早目のお申込みをお願いいたします)



社協からのお知らせ

認知症高齢者等家族介護教室

日時:2月2日(土)13:30~15:30

会場:総合福祉センターぼぶら研修室

テーマ「笑って絆を深めましょう！」

手話落語や全国落語行脚など抜群の行動力で注目される林家とんでん平さんに高齢者や多くのストレスを抱えている介護者に焦点を当て、笑うことの大切さ、そして笑いが織りなす人と人の繋がりについてお話しいたします。

講師 林家とんでん平さん

落語家(手話落語の第1人者)
札幌市議会議員 2003.4~

美唄市地域福祉推進大会

日時:2月23日(土)13:30~15:30

会場:総合福祉センターぼぶら研修室

基調講演 『無縁社会に今求められる地域のささえあい』

急速な高齢化と核家族化の中で年々増加する孤立死が問題となっています。孤立死が意味するものは何かを考えると同時に地域の在り方を考える機会とします。

講師 特定非営利活動法人 シーズネット
副理事長 奥田 龍人 氏

活動報告「南美唄校区社協の取組み」

平成21年に設置された校区社協の取組みをとおした地域のつながりを考えます。

あなたの善意を大切に 社協への寄付ありがとうございました

ご芳名	金額	摘要
竹下道子様	30,000円	家族が世話になっているので
国際ソロプチミスト美唄様	20,000円	ふれあいまつり売上げの一部を
美唄めぐみ幼稚園様	10,000円	バザーの一部を
匿名	5,000円	
アカシア幼稚園様	20,000円	クリスマス献金を
社協への寄付(11/1~1/10)	24年度累計 880,108円	

ぼぶら 第51号 2013(平成25)年1月15日発行

発行・印刷 社会福祉法人美唄市社会福祉協議会

〒072-0026 美唄市西3条南3丁目6-2 美唄市総合福祉センターぼぶら内

Tel 0126-62-0770 FAX 0126-62-6996

ホームページ <http://www.bibai.com/shakyo/> Eメール shakyo@mail.bibai.com

ぼぶらや社協に対するご意見ご要望、または掲載ご希望の話題がありましたらお寄せください。